

単元構想シート

〇〇小学校 第3学年 社会科 単元名「安全なくらしを守る」

全15時間

<p>単元目標 (育成したい資質・能力)</p>	<p>○消防署や警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解することができる。【知識・技能ア(ア)】</p> <p>○見学・調査したり地図などの資料でしらべたりして、まとめることができる。【知識・技能ア(イ)】</p> <p>○施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現することができる。【思考力・判断力・表現力イ(ア)】</p>	<p>二つの側面</p> <p>A…主に文章や図、グラフから読み解き理解する力 B…主に他者とのやりとりから読み解き理解する力</p>	<p>三つのプロセス</p> <p>①発見・蓄積 必要な情報を確かに取り出す ②分析・整理 情報を比較し、関連付けて整理する ③再構築 自分なりに解決し、知識を再構築する</p>
------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

単元の流れ ○主な学習活動 □指導上の留意点	「読み解く力」を育成するための手立て	「読み解く力」の育成に重点をおいた目指す児童生徒の姿	
		A：文章・グラフ・図から	B：やりとりから
<p>≪第1次≫</p> <p>①事故、火事の写真を調べ、人々の安全を守る人に関心をもち、危険カードを作成する。</p> <p>②危険カードを紹介し、なぜ自分たちが毎日安全に暮らしているのか疑問をもち、学習計画を立てる。 (疑問に対する予想を立て、調査内容を明らかにする) □ゴール(学習問題)を示す「安全にくらすことができるひみつをさがり、全校に伝えよう」(発見・蓄積)</p> <p>≪第2次≫</p> <p>③火事について話し合い、消防署への見学計画を立てる。</p> <p>④⑤消防署見学</p> <p>⑥『ひみつにせまろう会議1』消防署見学で分かったことをグループで交流する。(分析・整理)</p> <p>⑦『ひみつにせまろう会議2』学校の消防設備を調べ、その配置図をもとに話し合う。(分析・整理)</p> <p>⑧『ひみつにせまろう会議3』地域の消防設備と消防団の働きを調べ、地域を守ろうとする消防団の人々の思いを考える。(分析・整理)</p> <p>≪第3次≫</p> <p>⑨交通事故の資料から交通事故に関心をもち、身近な事故の傾向を調べ、「なぜ自分たちは安全に生活できているのか」についてのひみつにせまるための見通しをもつ。(発見・蓄積)</p> <p>⑩「安全にくらすことができるひみつ」を知るために、警察官とスクールガードと市役所の方に聞き取り調査をする計画を立てる。(発見・蓄積)</p> <p>⑪警察官とスクールガードと市役所の方に聞き取り調査をする。(発見・蓄積)</p> <p>⑫『ひみつにせまろう会議4』聞き取り調査で分かったことや自分の考えを交流する。(分析・整理)・・・本時</p> <p>⑬⑭これまでの学習を振り返り、学習問題について考えたことをまとめ、学習問題の解決に向けての表現内容と表現方法を考え、表現する。(再構築)</p> <p>⑮成果物を全校で紹介し、「自分たちが安全にくらすことができるひみつ」がよく分かったかどうか感想を聞き、これまでの学習の振り返りをする。(再構築)</p>	<p>○目的意識をもつ工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「安全にくらすことができるひみつをさがり、全校に伝えよう」という学習問題と学習の出口を明確にし、「安全にくらすことができるひみつをさがするためにはどのような学習が必要かを児童とともに確認し、学習計画を立てる。 ・実際の資料などの社会的事象と出会うことによって身近な危険に気づき、実感を伴った学習問題をもてるようにする。 ・消防士や警察官、スクールガードから聞き取り調査をする直接体験によって目的意識をもてるようにする。 <p>○学びを実感できる学習展開の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2、3次においては、学習課題にせまるために『ひみつにせまろう会議』を設け、児童が消防署や警察署やスクールガード等について調べたことを話し合うことによって、共通点や相違点に着目し、自分の考えを確かにしたり、深めたりできるようにする。 ・事前に聞き取り調査の対象が同じ児童同士で話し合い、観点に沿った聞き取り調査を行えるようにする。 	<p>①文章や資料等から、目的に応じて情報を取り出す ・実物資料から社会的事象と出会い、学習問題を解決するための必要な学習内容や調べる相手を計画している。</p> <p>②様々な情報を比較し、目的に応じて分析したり、整理したりする ・付箋に書き出したひみつ(情報)を比較し、消防署や警察署、関係機関の取組における共通点、相違点を見つけている。</p> <p>③解釈した内容を経験や知識と結び付けながら考えを深めたり、創造したりする ・全校にどのような内容をどのような形で伝えるのかを、ワークシートにある自分の考えや教室掲示資料をもとに考え、表現している。</p>	<p>①相手の言葉、しぐさ、表情をもとに相手の思いを感じ取る ・消防士や警察官、スクールガードから直接聞き取り調査を行い、相手の思いを感じ取っている。</p> <p>②相手の思いや意図を自分の考えや経験と比較しながら整理する ・付箋に書き出したひみつ(情報)についてグループでホワイトボードを活用して交流する学習を通じて、消防署や警察官、関係機関における取組の共通点や相違点を見つけている。</p> <p>③やりとりを通して、相手の思いや意図を踏まえながら、自分の考えを確かなものにし、創造したりする ・調査して分かったことを伝え合う活動を通して、安全なくらしを守るために消防署や警察署、関係機関の活動と願いはつながっていて、相互に連携していることや地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることに気づき、理解している。 ・全校にどのような内容をどのような形で伝えるのかを、グループでの話し合いを通して考え、表現している。 ・他者の表現から、自分の知識や気づきを確かなものとして捉えている。</p>